

※本校は、小規模校ではないが、校区の小学校には熊小学校、上阿多古小という小規模校がある。それらの小学校の生徒は清竜中学校に入学し、その人数の多さから自己をなかなか開示できない生徒もいる。それらの生徒にとって伸ばす教育を実現し、他の小学校出身者と協同的な学びができればと考える。私自身、普通学級の授業を何も担当していないため、担任の発達学級の授業について書かせて頂きます。

## 1 学 年 知的発達支援学級 第1・2学年 生活単元学習

生活単元学習とは、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習する指導の形態。この指導では、広範囲に各教科等の内容が扱われる。また、児童生徒の学習活動が、生活的な目標や課題に沿って組織される。指導にあたっては、必要な知識や技能の獲得とともに、生活上の望ましい習慣・態度の形成を図り、身に付けた内容が生活に生かされるようにすることなど考慮されている。文科省 HP より引用

## 2 実践内容

単元・題材 植える野菜は何になる？

単元・題材の目標

- (1) 焼く、煮るをはじめとした様々な料理方法を知る。(知識・技能)
- (2) 野菜が育ったら、どんな料理方法で調理するか発表する。(思考・判断・表現)
- (3) 野菜に含まれている成分から、健康的な食生活を送るにはどうすれば良いか考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

指導計画 (本時 1 / 7 時間)

学習内容	時数
○畑を耕す、苗を植える。	1
○雑草取り、水やり。	1
○支柱立て。	1
○既に植えた野菜の成分を調べながら、健康的な食生活について考える。	本時 4 1 / 1
○苗を植える。	1
○雑草取り、水やり。	1
○成長記録の比較。	1

## 5 本時の学習

### (1) 目標

トマト、ナス、キュウリ、ゴーヤに含まれている成分から、健康的な食生活について考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

### (2) ICT 活用

タブレットを使って、野菜の成分を調べ、ジャムボードにまとめる。

### (3) 学習過程

○学習活動 ・生徒の表れ	・支援、留意点 ☆ICT 活用 ◇評価
○野菜について確認する。 健康的な食生活について、考えよう。 ○植える野菜について確認し、どんな料理ができるかまた、どんな料理法があるか考える。 ○植える野菜は、どんな成分からできているか調べる。 ○健康的な食生活について考える。	・今の時期の野菜は何があるのか、教師から生徒に尋ねる。 ☆タブレットを使って、トマト、ナス、キュウリ、ゴーヤからどんな料理ができるか、どんな料理法があるか調べる。 ☆ジャムボードを使って、野菜の成分について調べる。 ◇健康的な食生活について、考えようとしているか。(観察)

## 3 成果と課題

ICT 機器を使うことによって、調べた内容を言葉に出さず共有することで発表を容易にできた生徒がいた。一方、ジャムボード自体普段の授業で頻繁に使っておらず、調べた内容をまとめる際、手間取る生徒も多かった。